

# 環境農林水産常任委員会資料

令和4年11月1日

農 政 水 産 部

# 目 次

## I 予算議案

議案第1号 令和4年度宮崎県一般会計補正予算（第5号）

（別途配布の議案P1）

（常任委員会資料P3）

令和4年11月補正事業説明資料

## II その他報告事項

- ・ 令和4年台風第14号による農水産業関係被害と対応について  
（常任委員会資料P22）
- ・ 漁業調査船みやざき丸の新船の竣工について  
（常任委員会資料P24）
- ・ 第12回全国和牛能力共進会（鹿児島大会）の結果報告  
（常任委員会資料P25）

# I 予算議案

## 議案第1号 令和4年度宮崎県一般会計補正予算(第5号)

### (1) 令和4年度歳出予算課別集計表

(単位：千円)

| 会計名              | 課名           | 令和4年度             |                   |                  |                | 令和3年度             |                   | 比率                        |                   |        |
|------------------|--------------|-------------------|-------------------|------------------|----------------|-------------------|-------------------|---------------------------|-------------------|--------|
|                  |              | 補正前の額<br>A        | 補正額<br>B          | 補正額              |                | 補正後の額<br>C=A+B    | 当初予算額<br>D        |                           | 最終予算額<br>E        |        |
|                  |              |                   |                   | うち<br>総合緊急対策     | うち<br>台風災害     |                   |                   | 対前年度<br>最終予算<br>比較<br>C/E |                   |        |
| 一<br>般<br>会<br>計 | 農政企画課        | 1,724,930         | 104,800           | 104,800          | 0              | 1,829,730         | 1,641,843         | 1,679,341                 | 109.0%            |        |
|                  | 農業流通ブランド課    | 1,121,901         | 0                 | 0                | 0              | 1,121,901         | 1,525,178         | 1,423,966                 | 78.8%             |        |
|                  | 農業普及技術課      | 5,017,258         | 411,891           | 411,891          | 0              | 5,429,149         | 3,532,841         | 3,858,629                 | 140.7%            |        |
|                  | 農業担い手対策課     | 2,951,552         | 0                 | 0                | 0              | 2,951,552         | 2,308,920         | 2,124,637                 | 138.9%            |        |
|                  | 農産園芸課        | 3,626,879         | 205,700           | 0                | 205,700        | 3,832,579         | 2,371,864         | 2,207,664                 | 173.6%            |        |
|                  | 農村計画課        | 2,783,796         | 0                 | 0                | 0              | 2,783,796         | 3,055,979         | 2,730,900                 | 101.9%            |        |
|                  | 農村整備課        | 13,955,963        | 25,871            | 25,871           | 0              | 13,981,834        | 13,851,920        | 12,371,380                | 113.0%            |        |
|                  | 水産政策課        | 2,657,753         | 67,793            | 0                | 67,793         | 2,725,546         | 2,295,024         | 2,173,843                 | 125.4%            |        |
|                  | 漁業管理課        | 4,012,171         | 280,324           | 0                | 280,324        | 4,292,495         | 3,987,396         | 4,962,144                 | 86.5%             |        |
|                  | 畜産振興課        | 7,673,820         | 287,041           | 191,455          | 95,586         | 7,960,861         | 7,370,054         | 8,298,746                 | 95.9%             |        |
|                  | 家畜防疫対策課      | 464,831           | 0                 | 0                | 0              | 464,831           | 450,500           | 441,255                   | 105.3%            |        |
|                  |              | 合計                | <b>45,990,854</b> | <b>1,383,420</b> | <b>734,017</b> | <b>649,403</b>    | <b>47,374,274</b> | <b>42,391,519</b>         | <b>42,272,505</b> | 112.1% |
| 特別<br>会計         | 沿岸漁業<br>改善資金 | 水産政策課             | 267,649           | 0                |                | 0                 | 267,649           | 302,193                   | 233,876           | 114.4% |
|                  |              | 合計                | <b>267,649</b>    | <b>0</b>         |                | <b>0</b>          | <b>267,649</b>    | <b>302,193</b>            | <b>233,876</b>    | 114.4% |
| 農政水産部計           |              | <b>46,258,503</b> | <b>1,383,420</b>  | <b>734,017</b>   | <b>649,403</b> | <b>47,641,923</b> | <b>42,693,712</b> | <b>42,506,381</b>         | 112.1%            |        |

(2)債務負担行為補正(追加)

| 事 項                                    | 期 間                 | 限 度 額       |
|--|---------------------|-------------|
| (水産政策課)<br>令和4年度漁業経営継続緊急支援融資<br>制度損失補償 | 令和4年度から<br>令和14年度まで | 千円<br>8,151 |

# 議案第1号 令和4年度宮崎県一般会計補正予算（第5号）

【農政水産部】

## <原油価格・物価高騰等総合緊急対策関連>

734,017千円

### 1 燃油価格高騰対策

補正予算額

#### 【拡充】農業セーフティネット対策緊急強化事業 <農業普及技術課>

・施設園芸等セーフティネット構築事業（国）への農家積立金相当額の一部を支援【86,217千円】

### 2 資材価格高騰対策

#### 【新規】乳用後継牛育成預託支援緊急対策事業 <畜産振興課>

・酪農公社における経費増加分の一部を支援【11,025千円】

#### 【新規】鶏卵生産費高騰緊急対策事業 <畜産振興課>

・鶏卵生産原価の掛り増し経費の一部を支援【90,000千円】

### 3 肥・飼料価格高騰対策

#### 【新規】堆肥活用低コスト肥料供給体制構築支援事業 <農政企画課>

・豚ふん堆肥を活用した低コスト肥料の安定供給に向けた生産体制強化を支援【104,800千円】

#### 【拡充】肥料価格高騰対策支援事業 <農業普及技術課>

・春肥の肥料価格上昇分の一部を支援【325,674千円】

#### 【新規】県産肥飼料実需農家利用促進事業 <畜産振興課>

・実需農家の需要に合わせた県産肥飼料を利用できる体制整備を支援【53,430千円】

#### 【拡充】畜産セーフティネット対策緊急強化事業 <畜産振興課>

・配合飼料価格安定制度（国）に係る生産者積立金相当額の一部を支援【37,000千円】

### 4 電気料金高騰対策

#### 【新規】農業水利施設電気料金高騰対策緊急支援事業 <農村整備課>

・土地改良区等の農業水利施設に係る電気代高騰分の一部を支援【25,871千円】

## <台風第14号災害緊急対策関連>

649,403千円

#### 【新規】被災産地営農継続緊急支援事業 <農産園芸課>

・種苗等の調達など栽培再開や品目転換等に必要の取組を支援【205,700千円】

#### 【新規】漁業経営継続緊急支援事業 <水産政策課>

・種苗導入経費や経営継続資金の円滑化、養殖業施設の復旧を支援【67,793千円】

#### 【拡充】災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業（補助公共） <漁業管理課>

・海岸に漂着した大規模な流木の処理【189,770千円】

#### 【拡充】県単災害復旧工事（災害復旧） <漁業管理課>

・補助公共の対象とならない流木の処理【90,554千円】

#### 【新規】畜産経営再開緊急支援事業 <畜産振興課>

・家きんなどの再導入等や被害を受けた自給飼料等の代替飼料の購入を支援【95,586千円】

**補正予算額：1,383,420千円**

|   |                      |          |    |       |
|---|----------------------|----------|----|-------|
| 事業名   | 堆肥活用低コスト肥料供給体制構築支援事業 | 新規・改善・既定 | 課名 | 農政企画課 |
|   |                      | 国庫・県単    |    |       |
| <p><b>1 事業の目的・背景</b></p> <p>輸入肥料価格の更なる高騰に対応するため、県産豚ふん堆肥を活用した低コスト肥料の安定供給体制を構築し、農家の経営コスト削減を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 予算額 104,800千円</p> <p>(2) 財源 国庫（臨時交付金）：104,800千円</p> <p>(3) 事業期間 令和4年度</p> <p>(4) 事業主体 JA宮崎経済連、肥料製造事業者</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>○ 堆肥活用低コスト肥料供給体制構築支援事業（1／2以内）<br/>104,800千円<br/>豚ふん堆肥を活用した低コスト肥料の安定供給に係る生産体制等を支援</p> <p><b>3 事業効果</b></p> <p>地域資源の利活用を推進することにより、国際情勢に左右されない持続可能な営農方式を構築する。</p> |                      |          |    |       |

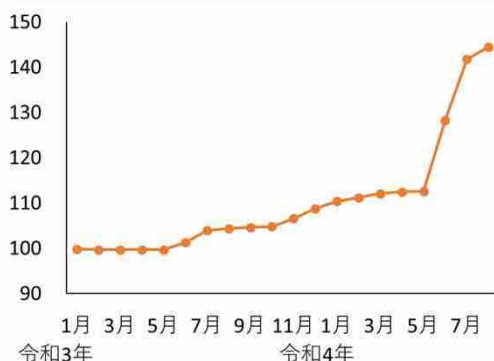
# 堆肥活用低コスト肥料供給体制構築支援事業

## 1 現 状

- 不安定な国際情勢により輸入肥料の更なる価格高騰が懸念
- J A 宮崎経済連では、化学肥料代替として、県産の豚ふん堆肥を活用した低コスト肥料を試作
- 低コスト肥料の利用拡大が見込まれているものの、**堆肥製造施設等の整備や、適正施肥に必要な土壌分析の受入体制が不十分**

※豚ふん堆肥を活用した低コスト肥料  
豚ふん堆肥ペレットと化学肥料を混合した肥料  
〔特徴〕  
原料が100%化学肥料のものとは比べ  
・化学肥料使用量：約30%削減  
・肥料コスト：約1.5～2.5%削減（価格高騰後、経済連比較）

肥料価格指数の推移（令和2年=100）



（出典）農林水産省 農作物価統計調査

## 2 事業内容

### 豚ふん堆肥を活用した低コスト肥料供給体制の構築

豚ふん堆肥を活用した低コスト肥料の安定供給体制の構築を目的に次の支援を実施

- 豚ふん堆肥活用低コスト肥料の大量供給に向けた体制の構築
  - 良質堆肥の安定生産のための堆肥化施設、ロータリー攪拌機の導入支援（J A 宮崎経済連）
  - 肥料規格に合わせた堆肥ペレットマシンの導入支援（肥料製造事業者）
- 豚ふん堆肥活用低コスト肥料の適正利用体制の構築
  - 堆肥や低コスト肥料の適正施肥に必要な高機能土壌分析機器の導入支援（J A 宮崎経済連）



ロータリー攪拌機付き  
堆肥化施設



堆肥ペレット

国際情勢に左右されない  
低コスト肥料の安定供給を実現

地域資源の利活用推進により、持続可能な営農方式を構築

| 事業名  | 被災産地営農継続緊急支援事業 | 新規・改善・既定 | 課名 | 農産園芸課 |
|--|----------------|----------|----|-------|
|  |                | 国庫・県単    |    |       |
| <p><b>1 事業の目的・背景</b></p> <p>台風第14号により甚大な被害を受けた産地に対し、種苗等の生産資材の導入など栽培再開や作物転換等に必要な取組を支援することにより、速やかな回復と営農継続を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 予算額 205,700千円</p> <p>(2) 財源 一般財源：205,700千円</p> <p>(3) 事業期間 令和4年度</p> <p>(4) 事業主体 営農集団、農業団体、市町村 等</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>① 営農継続支援（定額） 188,200千円<br/>被災した作物の栽培再開や被災を機に作物転換を図る際に必要な種苗等生産資材の導入を支援</p> <p>② 被災施設等復旧支援（1／2以内） 17,500千円<br/>被災により機能が低下した共同利用施設等の補修・修繕を支援</p> <p><b>3 事業効果</b></p> <p>営農継続や産地復旧に必要な取組を支援することにより、被災農業者の経営再開と産地の維持・拡大が図られる。</p> |                |          |    |       |



# 被災産地営農継続緊急支援事業

○台風第14号により農作物や農業用ハウス等に大きな被害が生じている状況  
(農水産被害総額約162億円、うち農作物約25億円 5,193ha ※10/26時点)

○長引くコロナ禍や昨今の原油価格高騰・物価高騰等により農業経営が厳しい中、さらなる農業者の生産意欲の減退や出荷量の減少などが懸念

## 速やかな回復と営農継続に向けた支援が必要

### 1 営農継続支援

栽培再開や作物転換に係る種苗や肥料等の掛かり増し経費の1/2相当額を支援

#### (1) 施設園芸作物に対する支援

##### ① 栽培再開(植替)、作物転換

- 内容：15万円/10a【定額】  
(種苗、肥料、農薬等)



ハウスの冠水

##### ② 栽培再開(植替なし)

- 内容：8万円/10a【定額】  
(肥料、農薬等)



冠水したピーマン

#### (2) 露地作物に対する支援

##### ① 栽培再開(播き直し)、作物転換

- 内容：2万円/10a【定額】  
(種苗、肥料、農薬等)



株の流亡(にんじん)

### 2 被災施設等復旧支援

被災により機能が低下した共同利用施設等の  
補修・修繕を支援【1/2以内】

- ・集出荷施設
- ・育苗施設
- ・園地(かん水施設など)等

取  
組  
内  
容

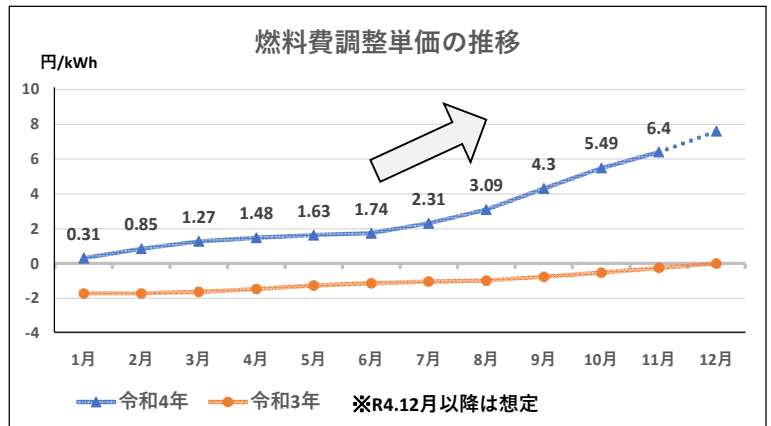
被災農業者の経営再開と産地の維持・拡大

|  |                          |          |    |       |
|--|--------------------------|----------|----|-------|
| 事業名  | 農業水利施設電気料金高騰対策<br>緊急支援事業 | 新規・改善・既定 | 課名 | 農村整備課 |
|  |                          | 国庫・県単    |    |       |
| <p><b>1 事業の目的・背景</b></p> <p>原油価格高騰に伴う農家負担の軽減を図るため、土地改良区等に対し農業水利施設の電気料金増加分の一部を支援し、農家経営の安定化を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 予算額 25,871千円</p> <p>(2) 財源 国庫（臨時交付金）：25,871千円</p> <p>(3) 事業期間 令和4年度</p> <p>(4) 事業主体 県</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>① 電気料金高騰対策（1／2以内） 23,971千円<br/>土地改良区等に対し、原油価格高騰により増加した農業水利施設の電気料金の一部を支援</p> <p>② 補助金申請業務委託 1,900千円</p> <p><b>3 事業効果</b></p> <p>電気料金高騰の影響が緩和されることで農業経営の安定が図られる。</p> |                          |          |    |       |

# 農業水利施設電気料金高騰対策緊急支援事業

## 1 現 状

- ・ 県内には用水条件の不利な水田や畑において農業を営むために土地改良区等が管理する揚水機等は400か所以上
- ・ 揚水機等は水田や畑地に配水する重要な施設で、多くの電力を使用
- ・ 原油価格高騰に伴う電気料金の上昇により、農家負担の増加が懸念



※電気料金＝基本料金＋電力量料金＋燃料費調整額\*＋再エネ賦課金

\*燃料費調整額…火力燃料費（原油・液化天然ガス・石炭）の変動を迅速に電力料金に反映

## 2 事業内容

### ○ 事業内容

土地改良区等が管理する揚水機等の電気料金について、電気料金上昇分相当額の2分の1を支援

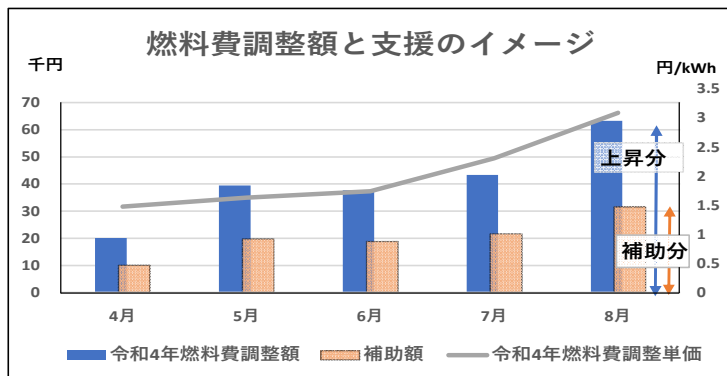
### ○ 補助額

燃料費調整額（電力使用量×燃料費調整単価）×1/2  
（令和4年4月～令和5年1月）

【A土地改良区（受益面積約90ha、電力使用期間4月～8月）の例】

7月電気料金 325,050円

|         |          |
|---------|----------|
| ④再エネ賦課金 | 64,812円  |
| ③燃料費調整額 | 43,270円  |
| ②電力量料金  | 192,564円 |
| ①基本料金   | 24,404円  |



|                  | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 合計      |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 電力使用量(kWh/機)①    | 13,580 | 24,215 | 21,655 | 18,732 | 20,485 | 98,667  |
| 燃料費調整単価(円/kWh)②  | 1.48   | 1.63   | 1.74   | 2.31   | 3.09   |         |
| 燃料費調整額 (円) ③=①×② | 20,098 | 39,470 | 37,679 | 43,270 | 63,298 | 203,815 |
| 補助金額 (円) ③×1/2以内 | 10,000 | 19,700 | 18,800 | 21,600 | 31,600 | 101,700 |

電気料金高騰の影響が緩和されることで、農業経営の安定が図られる

|  |              |               |    |       |
|--|--------------|---------------|----|-------|
| 事業名  | 漁業経営継続緊急支援事業 | 新規・改善・既定      | 課名 | 水産政策課 |
|  |              | 国庫・ <u>県単</u> |    |       |
| <p><b>1 事業の目的・背景</b></p> <p>台風第14号で被災した漁業者に対し、次期生産や資金融資の円滑化とともに、被災施設の復旧を支援することにより、速やかな回復と経営継続を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 予算額 67,793千円</p> <p>(2) 財源 一般財源：67,793千円</p> <p>(3) 債務負担額 8,151千円</p> <p>(4) 事業期間 令和4年度</p> <p>(5) 事業主体 漁業者、漁業信用基金協会、市町村</p> <p>(6) 事業内容</p> <p>① 漁業経営継続支援</p> <p>ア 次期種苗導入の支援（1／2以内） 49,613千円<br/>被災した養殖物の次期種苗導入に係る経費を支援</p> <p>イ 経営継続資金の融通円滑化の支援 8,151千円（債務負担）<br/>経営継続に必要な資金融資の円滑化を図るため、代位弁済リスクを支援<br/>○期間：令和4年度～令和14年度<br/>○融資枠：2億6千万円規模を予定</p> <p>② 養殖業施設復旧支援（2／10以内） 18,180千円<br/>被災した施設の復旧を支援</p> <p><b>3 事業効果</b></p> <p>被災した漁業者に対し、現制度では対応しきれないきめ細かな支援を行うことにより、台風第14号による影響が緩和され、漁業経営の継続が図られる。</p> |              |               |    |       |

# 漁業経営継続緊急支援事業

## 1. 背景

台風第14号の襲来

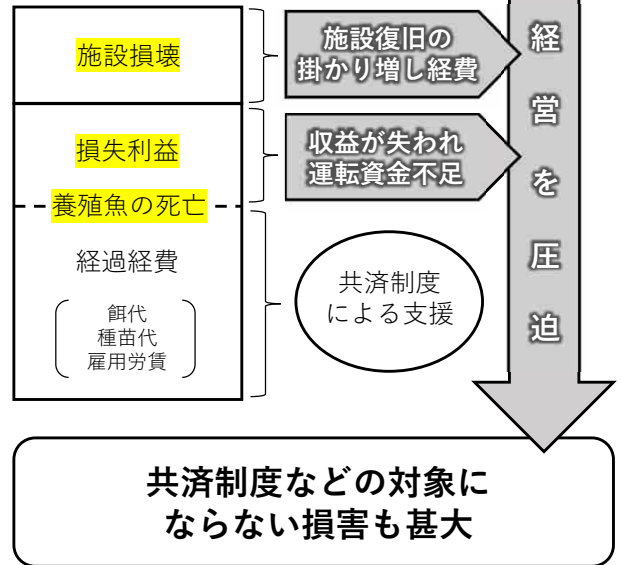


養殖出荷用  
生け簀等  
の損害

養殖魚の死亡

水産業の被害額：約11億円(10/26現在)

〈被災養殖業者の損害〉



## 2. 事業内容

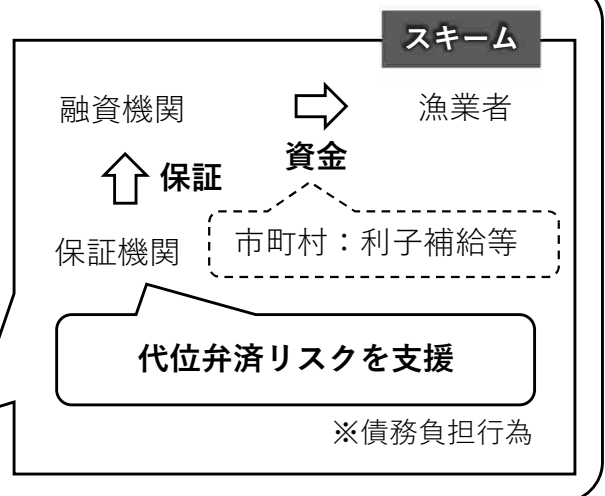
### ① 漁業経営継続支援

#### ア 次期種苗導入の支援

- ▶ 被災した養殖物の次期種苗導入経費の1/2を支援  
※年度内導入の種苗や中間魚が対象

#### イ 経営継続資金の融通円滑化の支援

- ▶ 経営継続に必要な資金融資の円滑化を図るため、代位弁済リスクを支援



### ② 養殖業施設復旧支援

- ▶ 被災した施設の復旧に係る経費の2/10を支援  
※養殖施設共済の対象外の施設に限る  
※国の災害復旧事業の共同利用施設の補助率を適用

漁業の経営継続を図る

|  |                       |          |    |       |
|--|-----------------------|----------|----|-------|
| 事業名  | 乳用後継牛育成預託支援緊急<br>対策事業 | 新規・改善・既定 | 課名 | 畜産振興課 |
|  |                       | 国庫・県単    |    |       |
| <p><b>1 事業の目的・背景</b></p> <p>物価高騰により県内酪農家の経費が増加する中、乳用後継牛の育成預託事業を行う宮崎県酪農公社に対し、経費増加の一部を支援することで、農家負担増の軽減と生産基盤の維持を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 予算額 11,025千円</p> <p>(2) 財源 国庫（臨時交付金）：11,025千円</p> <p>(3) 事業期間 令和4年度</p> <p>(4) 事業主体 （一社）宮崎県酪農公社</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>○ 乳用後継牛育成預託支援対策（1／2以内） 11,025千円<br/>酪農公社における物価高騰による経費増加の一部を支援</p> <p><b>3 事業効果</b></p> <p>物価高騰による影響緩和と酪農生産基盤の維持が図られる。</p> |                       |          |    |       |

# 乳用後継牛育成預託支援緊急対策事業

## 1 現 状

### 県内酪農への影響

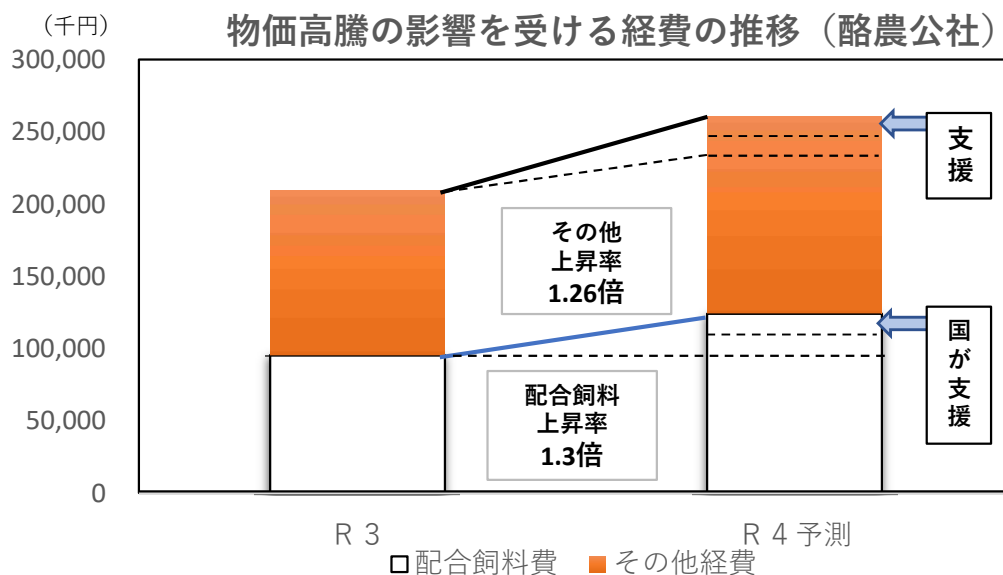
- ・消費の減退による生乳需給の緩和
- ・物価高騰による経営費の増加
- ・期中の乳価値上げが実現したものの要求には届かず
- ・酪農公社も同様の影響を受け、預託料の値上げを懸念

## 2 課 題

酪農家のコスト低減や生産基盤強化を図るためには、育成預託システムによる乳用後継牛の確保が重要であるため、酪農公社の運営強化に向けた支援が必要

## 3 事業内容

### ○乳用後継牛育成預託支援対策



- ・その他経費増加分（粗飼料・肥料・種子・燃料・光熱費）の 1 / 2 を支援することで、農家の負担増を軽減。

物価高騰による影響が緩和され、酪農生産基盤の維持が図られる。

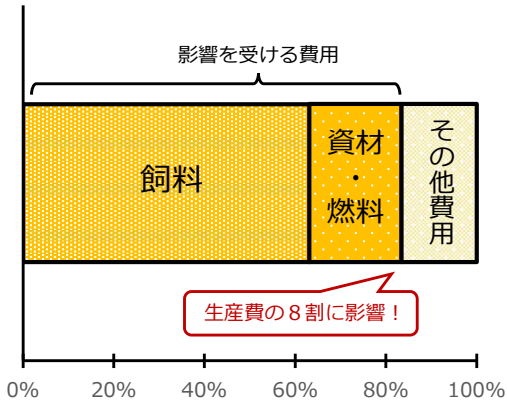
|  |               |          |    |       |
|--|---------------|----------|----|-------|
| 事業名  | 鶏卵生産費高騰緊急対策事業 | 新規・改善・既定 | 課名 | 畜産振興課 |
|  |               | 国庫・県単    |    |       |
| <p><b>1 事業の目的・背景</b></p> <p>資材価格の高騰により増加した鶏卵生産原価の掛かり増し経費の一部を支援することで、鶏卵生産者の経営安定と県産鶏卵生産基盤の維持を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 予算額 90,000千円</p> <p>(2) 財源 国庫（臨時交付金）：90,000千円</p> <p>(3) 事業期間 令和4年度</p> <p>(4) 事業主体 （一社）宮崎県養鶏協会</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>○ 生産費高騰対策（1／2以内、4円/kg上限） 90,000千円<br/>         鶏卵生産者自らが資材・燃油・飼料等のコスト削減の取組みを行った場合に、生産原価の掛かり増し経費の一部を支援</p> <p><b>3 事業効果</b></p> <p>鶏卵生産者の経営安定と県産鶏卵生産基盤の維持が図られる。</p> |               |          |    |       |



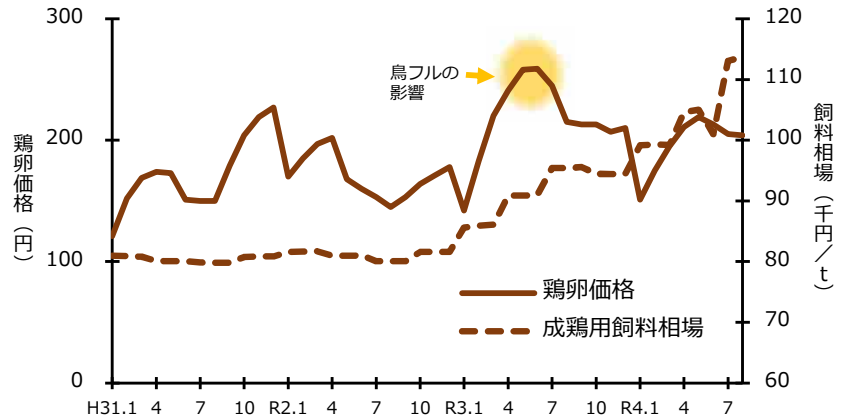
# 鶏卵生産費高騰緊急対策事業

## 1 現状と課題

物価高騰の影響を受ける  
生産費の割合



鶏卵価格と飼料相場の推移



- ・採卵鶏は物価高騰の影響が特に大きい
- ・流通構造等により生産費の増加が販売価格の上昇につながりにくい
- ・他畜種と異なり、国の制度が所得補償となっていない
- ・鶏卵特有の梱包資材などが値上がり



## 2 事業内容

鶏卵 1 kgあたり  
梱包資材費 8 円の  
コストUP

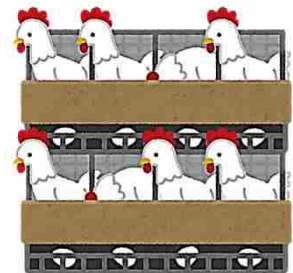


鶏卵生産者自らが資材・燃油・飼料等の  
コスト削減の取組を行う場合に、増加した  
生産費の一部を支援（1 / 2 以内※）

※鶏卵 1 kgあたり 4 円以内

### コスト削減の取組事例

- ・ 食いこぼしや無駄餌の防止のための対策
- ・ 飼料米やエコフィードの給与
- ・ 資機材を節電タイプに変更
- ・ 寒冷紗や断熱材を活用した環境調節 etc...



鶏卵生産者の経営安定と県産鶏卵生産基盤の維持

|   |                 |          |    |       |
|---|-----------------|----------|----|-------|
| 事業名   | 県産肥飼料実需農家利用促進事業 | 新規・改善・既定 | 課名 | 畜産振興課 |
|   |                 | 国庫・県単    |    |       |
| <p><b>1 事業の目的・背景</b></p> <p>輸入肥飼料の国際価格高騰や、稲わらの一時的な輸入停滞など国際情勢が不安定な中、堆肥や稲わらの実需農家に対し、これらの県産資源の利用に必要な施設・機械の整備を支援することで、県産肥飼料の利用拡大を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 予算額 53,430千円</p> <p>(2) 財源 国庫（臨時交付金）：53,430千円</p> <p>(3) 事業期間 令和4年度</p> <p>(4) 事業主体 農業者、営農集団 等</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>○ 県産肥飼料実需農家利用促進事業（1／2以内） 53,430千円<br/>県産肥飼料を実需農家が利用するための施設・機械の整備を支援</p> <p><b>3 事業効果</b></p> <p>地域資源の利活用を推進することにより、国際情勢に左右されない持続可能な営農方式を構築する。</p> |                 |          |    |       |

# 県産肥飼料実需農家利用促進事業

## 1 現 状

- 輸入肥飼料  
国際価格の高騰、中国からの稲わら輸入が一時停滞  
⇒ 供給が不安定
- 県産肥飼料（堆肥や稲わら等の地域資源）  
供給される品質や時期等が生産農家に左右され、  
実際に利用する実需農家の利用に至らない



## 2 課 題

県産肥飼料を実際に利用する「実需農家」が自らの需要に合わせて利用するための施設や機械の体制整備支援が必要

## 3 事業内容

### 県産肥飼料を利用するための施設・機械の整備

耕種農家、畜産農家が県産肥飼料を利用するために次の支援を実施

#### 【耕種農家（堆肥の実需者）】

堆肥の利用に必要な施設・機械の整備

- 品目オーダーに応じた堆肥製造に係る調製施設の整備支援
- 堆肥散布機械の導入支援

#### 【畜産農家（飼料の実需者）】

飼料の生産・利用に必要な施設・機械の整備

- 飼料米・稲わら等飼料の生産・調製に係る機械・保管庫の導入支援

不安定な国際情勢に左右されない県産肥飼料の活用が可能



地域資源の利活用推進により、持続可能な営農方式を構築

|   |              |          |    |       |
|---|--------------|----------|----|-------|
| 事業名   | 畜産経営再開緊急支援事業 | 新規・改善・既定 | 課名 | 畜産振興課 |
|   |              | 国庫・県単    |    |       |
| <p><b>1 事業の目的・背景</b></p> <p>台風第14号により被災した畜産農家に対し、経営の復旧に必要な掛かり増し経費を支援することで、速やかな経営再開を図る。</p> <p><b>2 事業の概要</b></p> <p>(1) 予算額 95,586千円</p> <p>(2) 財源 一般財源：95,586千円</p> <p>(3) 事業期間 令和4年度</p> <p>(4) 事業主体 農業団体</p> <p>(5) 事業内容</p> <p>① 被災家畜等適正処理緊急支援事業（1／2以内） 18,201千円<br/>死亡した家畜等の適正処理を支援</p> <p>② 経営再開家畜等導入緊急支援事業（1／2以内） 51,965千円<br/>死亡した家きんの再導入を支援</p> <p>③ 粗飼料確保緊急支援事業（1／2以内） 25,420千円<br/>被災した自給飼料の代替となる粗飼料の購入を支援</p> <p><b>3 事業効果</b></p> <p>被災農家の円滑な経営再開を支援し、本県の畜産業発展を促進する。</p> |              |          |    |       |

# 畜産経営再開緊急支援事業

## 〈背景〉

### 《台風第14号の畜産での被害状況》

- ▽ 台風第14号により、
  - ① 県内全域で畜舎の倒壊・損壊
  - ② 停電等による家畜・家きんの死亡
  - ③ 飼料作物の倒伏等多くの被害が発生



畜舎の倒壊

### 《畜産農家の現状》

- ▽ 飼料・資材・燃料等の高騰により厳しい経営環境
- ▽ 被災により、復旧へ向けたさらなる費用が発生
- ▽ 経営規模の縮小や経営再開の断念などが懸念



トウモロコシの折損

## 〈支援策〉

畜産経営の円滑な再開に向け、被災による掛かり増し経費を支援

### 死亡家畜・家きんの処分

死亡した家畜等の搬出・輸送・焼却等処理に要する費用

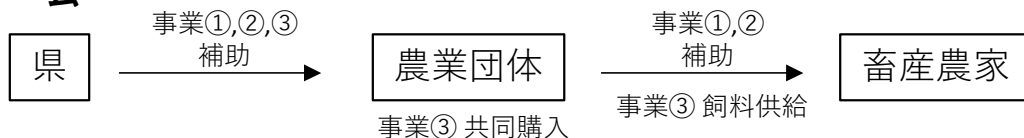
### 家きんの再導入

死亡した家きんの再導入に要する費用  
(採卵鶏：400円/羽、ブロイラー：35円/羽、みやざき地頭鶏：105円/羽を上限)

### 代替粗飼料の確保

自給飼料の代替となる粗飼料等を共同購入し、畜産経営体に供給する取組  
(代替として共同購入する粗飼料等1kg当たり15円を上限)

### 事業スキーム



## 《期待される効果》

被災農家の早期に円滑な経営再開 ⇒ 本県畜産業のさらなる発展

## II その他報告事項

### 令和4年台風第14号による農水産業関係被害と対応について

農政水産部

#### 1 被害状況

農水産業での被害は現在も調査中であるが、農作物等の冠水、農業用施設の一部崩壊、養殖魚の死亡など幅広い被害が発生



園芸ハウスの倒壊、冠水（西都市）



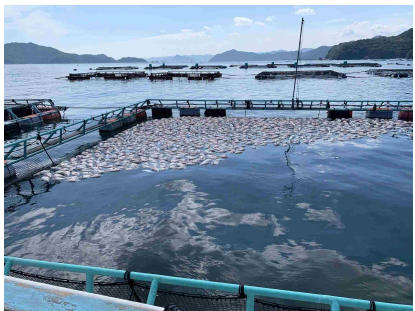
水稻の冠水・倒伏（都城市）



水路の崩壊（高千穂町）



畜舎の損壊（美郷町）



養殖魚の死亡（延岡市）



海岸漂着物（日南市）

#### 2 被害額

次ページのとおり。

#### 3 主な対応状況

##### (1) 農水産業者への対応

- 台風被害に関する関係機関との情報共有を強化するとともに、浸水エリアの農業者や新規就農者など特にフォローアップが必要な対象者を抽出し、訪問・対面での相談対応を行い、経営意向の把握と経営再開に向けた支援を実施

##### (2) 農地等の復旧・漂着物への対応

- 今後、市町村において、既存の災害復旧事業等を活用して農地・農業用施設の復旧工事に着手する予定

- 国・県の事業により、県において漁港及び海岸の漂着物の回収処理を実施予定

##### (3) 国への要望

農林水産大臣に対し、以下の内容を要望

- 被災農業者の営農継続に必要な農業施設等の復旧に係る支援
- 農業共済、漁業共済、漁船保険の共済金、保険金の早期支払
- 次期作の生産に必要な農薬・肥料の購入、家畜の導入など、営農を再開するための取組の支援
- 共同利用施設、農地、農業用施設等の復旧の予算確保
- 漁港等の漂着流木の処理や漁港施設等の復旧の支援 等

① 農作物等の被害

| 主な被害             | 被害数        | 被害額(千円)   | 備 考   |
|------------------|------------|-----------|---|
| 農作物等             | 5,193 ha   | 2,510,684 | 冠水、倒伏 等 (県全域)   |
| 樹体               | 23 ha      | 15,714    | マンゴー、かき等の枝折損 (南那珂、東白杵)  |
| 家畜               | 139,326 頭羽 | 133,357   | ブロイラー、採卵鶏、肉用牛、肉豚の死亡 (南那珂、北諸県、西諸県、児湯、東白杵、西白杵)、生乳廃棄1,330kg、餌ロール廃棄4件 |
| 農業用ハウス           | 1,741 件    | 995,503   | ビニル破損 等 (県全域)   |
| 農業用倉庫・<br>処理加工施設 | 53 件       | 15,286    | 倉庫破損 等 (県全域)  |
| 畜産用施設            | 453 件      | 335,663   | 畜舎破損 等 (県全域)  |
| 共同利用施設           | 62 件       | 127,887   | 倉庫、処理加工施設、共同作業場、産地市場施設等の施設(壁、屋根、シャッター等)の破損、機材の故障 等 (県全域)          |
| 農業・<br>畜産用機械     | 675 件      | 401,241   | 冠水による加温機の故障 等 (中部、北諸県、児湯、東白杵)                                     |
| その他              | 242 件      | 30,365    | 果樹棚、防霧ファン、電気柵の破損 等 (児湯、東白杵 等)                                     |
| 合 計              |            | 4,565,699 |   |

② 農地・農業用施設等の被害

| 主な被害  | 被害数      | 被害額(千円)    | 備 考                      |
|-------|----------|------------|--------------------------|
| 農 地   | 1,655 箇所 | 5,322,500  | 田、畑の法面崩壊                 |
| 農業用施設 | 1,010 箇所 | 5,022,100  | 水路の埋没、農道の路肩崩壊、頭首工の護岸崩壊 等 |
| 生活関連  | 7 箇所     | 178,000    | 集排施設の浸水 等                |
| 合 計   | 2,672 箇所 | 10,522,600 |                          |

③ 水産関係の被害

| 主な被害   | 被害数   | 被害額(千円)   | 備 考  |
|--------|-------|-----------|--|
| 漁船     | 73 隻  | 16,690    | 転覆、浸水、船体破損 等   |
| 漁具     | 3 件   | 1,161     | 磯建網の流出、定置網の破断  |
| 養殖施設   | 34 件  | 120,733   | ロープ破断、養殖いけす流出、土砂流入、施設の破損                                       |
| 水産物    | 19 件  | 397,430   | アジ、カンパチ、マダイ、ハマチ、蓄養イセエビ、マサバ、ヤマメ、アワビ、ニジマス、チョウザメ、イワガキ、ヒラメ、コイなどの死亡 |
| 漁具倉庫等  | 27 件  | 157,411   | 漁協事務所や水産試験場の施設破損、棧橋一部崩壊、タグボート転覆 等                              |
| 漁港施設等  | 2 漁港  | 6,000     | 被覆ブロック飛散、防風フェンス基板破損、舗装破損                                       |
| 共同利用施設 | 63 件  | 75,314    | 漁具倉庫、荷捌き施設、機関整備作業場、冷蔵施設等での施設の破損、機器の故障 等                        |
| 海岸等漂着物 | 22 箇所 | 305,720   | 流木等漂着  |
| 合 計    |       | 1,080,459 |  |

④ 被害総額

|      | 被害額 (千円)   |
|------|------------|
| 被害総額 | 16,168,758 |

※10月26日時点での報告に基づくものであり、今後の調査の進展に伴い変更となる可能性あり。

# 漁業調査船みやざき丸の新船の竣工について

水産政策課

## 1 みやざき丸について

みやざき丸は、本県のかつお・まぐろ漁業の振興を図るための調査・研究を主な業務とする水産試験場の漁業調査船で、初代みやざき丸は昭和25年に竣工。6代目となる新船は、漁場探索能力の向上や資源量調査の充実を目的として令和3年6月に建造に着手し、令和4年11月下旬の竣工を予定。

## 2 新船の概要

- (1) 建造費 約19.4億円
- (2) 総トン数 199トン（現行みやざき丸と同等）
- (3) 特徴
  - ① かつお・まぐろを対象とした研究の強化のため、初の船内研究室を備え、環境DNA技術を活用した新たな漁場探索支援技術の開発等を実施
  - ② 資源の利用管理の高度化のため、これまでの沖合域を主体とした調査に加えて、沿岸域の資源調査を実施
- (4) 定係港 現行の宮崎港から油津港へ変更予定  
かつお・まぐろに係る調査・研究の効率化を図るため、かつお・まぐろ漁業の県内最大の基地である日南市を拠点とする。

## 3 竣工式の予定

- (1) 開催日時 令和4年12月6日（火） 10:00～12:00
- (2) 内容 竣工式典（宮崎県水産会館）／新船披露（宮崎港岸壁）

### [新船の仕様]

|        |          |
|--------|----------|
| 全長     | 約44m     |
| 機関種類   | ディーゼル    |
| 機関馬力   | 1,471kw  |
| 航海速度   | 約24km/h  |
| 航続距離   | 約6,500km |
| 最大航海日数 | 12日      |
| 定員     | 21名      |



新船の外観（令和4年9月26日 進水式時）



## 第12回全国和牛能力共進会（鹿児島大会）の結果報告

畜産振興課

- 1 日 時 令和4年10月6日～10日  
 2 会 場 種牛の部：鹿児島県霧島市牧園町  
 肉牛の部：鹿児島県南九州市知覧町

### 3 今大会の特徴

「和牛新時代 地域かがやく和牛力」を開催テーマに、和牛肉の新しい価値観として、「おいしさ」に着目し、肉牛の部・第7区では、これまでの肉量・肉質の評価に加え、牛肉のおいしさに関連する「脂肪の質」を評価するための基準を新設

### 4 本県代表牛の成績（第2区～第8区・特別区 計22頭）

| 出品区                        |                     | 出品者      |          | 出品牛                | 成績               |
|----------------------------|---------------------|----------|----------|--------------------|------------------|
| 種牛の部                       | 第2区：2頭<br>(若雌の1)    | 小林市      | 森田 正明    | いりす184             | 優等賞6席            |
|                            |                     | 小林市      | 森田 悠斗    | やすこ                | 優等賞2席            |
|                            | 第3区：2頭<br>(若雌の2)    | 延岡市      | 織田 直行    | みほのふじ              | 優等賞3席            |
|                            |                     | 高千穂町     | 林 秋廣     | こうみほ               | 優等賞首席            |
|                            | 第4区：3頭<br>(繁殖雌牛群)   | 高千穂町     | 藤原 和昭    | はる2                | 優等賞2席            |
|                            |                     | 日之影町     | 井植 計二    | たかひめ9の9            |                  |
|                            | 高千穂町                | 佐藤 悟     | 第8いちこの28 |                    |                  |
| 第5区：3頭<br>(高等登録群)          | 宮崎市                 | 増田 純一    | ひかる1     | 優等賞2席              |                  |
|                            |                     | 増田 裕輔    | ひかる12    |                    |                  |
|                            |                     | 増田 くるみ   | ひかる127   |                    |                  |
| 第6区：計7頭<br>(総合評価群)<br>種牛4頭 | 五ヶ瀬町                | 興梠 大志    | ひむか2     | 優等賞2席              |                  |
|                            | 高千穂町                | 馬崎 太志    | こころ      |                    |                  |
|                            | 高千穂町                | 田辺 貴紀    | たけまん     |                    |                  |
|                            | 高千穂町                | 興梠 友成    | さくら2     |                    |                  |
| 肉牛3頭                       | 小林市                 | 有限会社馬場牧場 | 美華満天     | 〔種牛 1位〕<br>〔肉牛 5位〕 |                  |
|                            | 小林市                 | 竹之内 利弘   | 松297     |                    |                  |
|                            | えびの市                | 神田 譲市    | 天空       |                    |                  |
| 肉牛の部                       | 第7区：3頭<br>(脂肪の質評価群) | 高千穂町     | 佐藤 孝輔    | 尚栄                 | 優等賞首席<br>内閣総理大臣賞 |
|                            |                     | 小林市      | 有限会社馬場牧場 | 弥土52の3             |                  |
|                            | えびの市                | 神田 譲市    | 第33凜太郎   |                    |                  |
| 特別区：1頭<br>(高校・農大校)<br>種牛   | 小林秀峰高等学校            |          | まひろ      | 優等賞2席              |                  |

### 5 出品団体表彰受賞県

兵庫県、大分県、宮崎県、鹿児島県

※ 特別区を除く5つ以上の区に出品し、出品した全ての区で上位の「優等賞」獲得した県に贈られる。